



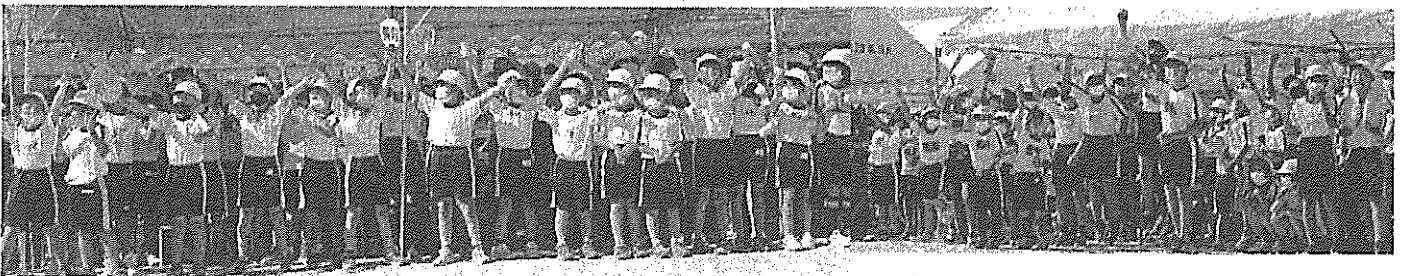
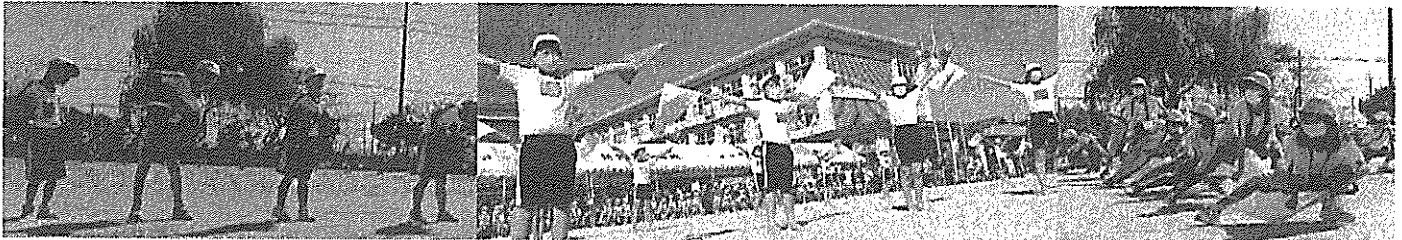
やさしさに包まれ (制限下の運動会③)

夏から2学期はじめの感染症流行が収まりかけたかと思いきや「まだまだ油断をしてはならぬ」と私たちに警告を投げかけるように運動会の延期を余儀なくされました。当初の前日(14日)はモチベーションを最高潮にして帰宅した子どもたちにまさかの知らせ。気持ちを再度立て直すことは困難かと思われましたが、しっかりと復活させ、盛り立ててくれました。

今年のたてわり活動には「やさしさ」が流れていました。応援合戦を通してみんながひとつになる。6年生が大きな成長をします。思い通りに動いてくれない低学年の子たちにイライラが募る場面も定番のシーンですが、そんな姿はありません。大きな声を出さずともできることを示してくれました。「焦ることはない、何とかなるもんだ。」1学期に実施した地域学校協働活動から学んだのかもしれない。

日陰にいと肌寒さを感じるほどの気候となりましたが、太陽もやさしく輝きつづけてくれました。例年、子どもたちの姿と青い空と白い雲のコントラストを楽しんでいましたが、今年の背景は青一色です。天候だけではありません。地域の方、保護者のみなさまのやさしさにも包まれたなかで運動会を終えることができた幸せをかみしめています。

子どもたちはこの行事を通して大きく育ちました。6年生の授業をのぞくと、大きな声で発言する子を見つけました。以前とイメージが違います。色のリーダーになったことがきっかけだったのではないかと感じています。6年生だけではありません。その子の学年に応じた育ちをしています。どうか今後も成長を見守ってください。



たくましい子へ ~大人のかかわりは?~

当初の15日まで約2週間の練習期間、例年にはない姿がありました。高学年の集団演技の練習に児童がマイクを持ち全体を指揮する場面です。応援合戦ではよく見る光景ですが、学年の演技では少ないことです。こういった子どもに任せる場面が出現することに喜びを覚えた時間でした。

この期間に様々な子どもの姿を見るにつけ、「平成の小学生はたくましかった。昔の子は甲斐性があったなあ」と感じる事が多々あります。指示どおりに動けないことが少なくないからです。こんなふうにしてしまったのは私たち大人のせいかもしれません。「テント設置を子どもに手伝わせてもいいですか」と尋ねる教員がいました。そういえば昔は子どもだけでやらせていたなあ、「自分たちのテントは自分たちで。大人は手伝わないからやり方をしっかり覚えて。持ち上げるのが無理だったら、そこは助けるわ」と指示され本部テントで組み立て方を学んだ当時の子たちは、すべてを自分たちだけで終了させたい思いが強く、助けを要請することはありませんでした。プライドが許さなかったのでしょうか。実に嗜れ嗜れとして運動会を終えた彼らでした。もし今、担任であってもこんなことはしないだろうな、「ケガをさせてしまったら…」と恐れてしまう時代になっていることは否定できません。こんなふうにはプレーキをかけることが悔しいですが、できる範囲で子どもができる甲斐性をつけようとする気持ちは忘れたくないものです。ちなみに彼ら(昭和61年生まれ)の学校の体育館には「たくましい子 ○○の心」(○○は学校名)と書いた大きな額が飾られ、誰もがこの校訓を大切にしていたことを思い出します。

北小児童のやさしさに感動しました

～ 地域の方から うれしいおたよりをいただきました ～

運動会の閉会式でも紹介をさせていただきましたが、この紙面でも「北小児童のやさしさ」について取り上げさせてください。地域の方から以下のようなお手紙をいただきました。

(概略) 10/8(土)「子ども食堂」の折、とてもうれしいことがあり、お伝えしたくなりました。イベントの終盤にお楽しみ抽選会があり、残り少なくなったところで番号の抽選からスタッフとのじゃんけんゲームに切り替わりました。最後の1個になった時、残った子どもは3人、そのなかで勝ったのは北小6年生の子でした。負けた2人のなかには子ども園に通う4歳のお子さん(お手紙をくださった方のお孫さん)がいました。その子は悔しくてしくしく泣き出しました。それを見たもう一人の友達が寄ってきて、「友達が当たったけど、これどうぞ」とやさしく園児に渡してくれました。その子にお礼を言ったとたんに去って行ってしまいました。とってもありがたく、うれしいことでした。園児には、6年生のお兄ちゃんからもらったおもちゃを大切にしよう、そして、お兄ちゃんからいただいたやさしい心づかいを忘れないよう、これからも言い聞かせていくつもりです。この子たちに園児とそのお母さん、おばあさんが、とても喜んでいただいていたことを伝えてほしい。

このようなお手紙をいただき、胸が熱くなりました。園児を見て感じたことを行動に移した彼らの行動に感心するばかりです。「このプレゼントをもらったら、この子の悲しみが消えるかもしれない。」「渡したいけど恥ずかしい」そんな葛藤があったのですが、それを察した友達が行動を起こしたのです。園児の心を察する、迷っている友達の心を察する、尊い姿です。また、このことを自分たちだけが知るのももったいない。より多くの人に「やさしさ」を知ってほしいと考えた地域の方がお手紙という形にくださったのです。北小学校では、11月を「人権月間」としています。それを迎えるにふさわしい彼らの行動を文字にして地域のみなさまに知っていただきたく紹介させていただきました。

変化の激しい 予測が難しい社会を たくましく生き抜く大人に向けて

～ 高島高校・安曇川高校合同学校説明会 ～

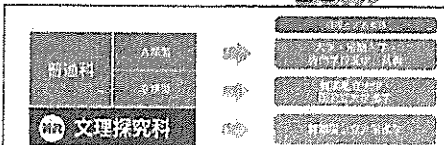


市内の高校が変わりつつあります。実社会で様々な課題に接したりする際に必要となる力を身に付けるための学習を積極的に取り入れています。高島高校では、従来の普通科に加え「文理探求科」が創設され、普通科も含め、自分たちの課題を設定して協力しあって学びを進めています。市役所や企業等と連携し、課題を解決する学びです。安曇川高校では、「なりたい自分に出会える」をモットーに、自分の進みたい道に入学後に選び、工業系、商業系、情報系、医療・保育・福祉系と、進む道に沿った自主的な学びを選ぶことができます。

このような市内の高校で学ぶ生徒たちのナマの声を聴いてみませんか。詳しくは、新旭北小学校ホームページをご覧ください。参加は右のQRコードからでもできます。現在の生徒を通して、数年後のお子様の姿を思い浮かべる機会となります。

新学科スタート

夢をかなえる場所がここに!



文理探求科



11月12日(土)13:30～15:20

藤樹の里文化芸術会館にて

11月 学校行事予定

1日 (火)	校内人権月間(～12/4) 歯科指導(2年)	17日 (木)	湖西中学校区研究大会(臨時日課)
2日 (水)	委員会活動 食育指導(3年)	18日 (金)	修学旅行(1日目) 5年地域学習
3日 (木)	文化の日	19日 (土)	修学旅行(2日目)
7日 (月)	希望の会の日 学年費口座振替(全学年)	20日 (日)	家読の日
8日 (火)	卒業写真(6年個人)	21日 (月)	6年振替休業日
9日 (水)	食育指導(5年)	23日 (水)	勤労感謝の日
10日 (木)	4年校外学習	25日 (金)	3年校外学習
11日 (金)	マラソン大会	28日 (月)	家庭学習がんばり週間(～12/4)
15日 (火)	PTA常任・実行委員会	29日 (火)	ぽっかぽか集会(人権を考える)
		30日 (水)	委員会活動 学校運営協議会

※感染症の影響により休止または延期となることがあります。